



1. 開催日時・会場

日時:令和元年 10 月 18 日(金) 7:10~8:10

場所:パシフィコ横浜会議センター 511 号室

2. 出席者(敬称略)

担当理事:山田宏, Editor-in-Chief:千葉一裕

編集委員長:折田純久 編集委員:加藤真介, 川口善治, 高橋寛, 根尾昌志, 長谷川和宏

杏林舎:岡田達也(マーケティング), 田村みどり(編集担当), 霧間悠

3. 連絡・確認事項

年 4 回発行. 現在第 3 巻 3 号まで発刊(1, 4, 7, 10 月. 掲載論文は 2 ヶ月前に決定)

日本語査読:発刊から 1 年間限定(H30 年 3 月)で実施していたが現在は終了.

査読者リストは月 2 回, 各委員にリスト送信. 3 ヶ月に 1 回程度の割合で decline 数を含む

杏林舎より報告:

・2019 年 8 月に PubMed 収載済み

・2019 年投稿状況(2019/10/9 現在):総数 73, 採択 37(2018 年:105 本, 56 本). 採用率は 59%(同 58%)であり, おおよそ前年と同様のペース. 例年 4 月, 8 月に投稿数増加の傾向

・平均査読日数 18.2 日, 平均採択日数 60.5 日. ひきつづき「査読の速さ」をアピールして良い.

・Case Report を, Letter 形式である Clinical Correspondence に変更してから投稿数増加.

・投稿国:海外が増加している. 日本にきた留学生による投稿もあり口コミでの増加を期待.

・RA は現在のところストックにて運営中. 年度初めの掲載のほうが有利であるため, 基本的には年はじめの 1 号, 2 号での掲載の方針.

・PubMed 収載による変化:検索国の数およびダウンロード数が倍増した. 投稿数は今後 1 年ほどで増加するものと思われる. 全体的な検索数は Google Scholar が優勢である.

・IF 申請について: 創刊当時に比し, 承認が厳しくなっている印象.

- 被引用ペースは ASJ と比較すると多いが, 現段階では暫定 IF0.3 程度. 正式取得後も IF0.5 以下だと抹消されかねない. 当面は被引用数を挙げていくことが重要.
- アクセス数増加のため, recommended article を自動で提示する Web ガジェットを試行中.
- 中国, イランなどが被引用多いため, 今後これらの国々へのアプローチも念頭に置く
- 号毎の特集を決めて論文を依頼することも検討. テーマは骨粗鬆症, 頸椎病態・手術, など. 特集号編纂の際は, 評議員に依頼して各分野の編集を担当していただくことも検討(理事会案件か)

- ・出版倫理違反の疑いに対し EIC , Deputy Editor-in-Chief と編集部で処理した 2 例の情報提供がされた . Author 側からの withdraw の申し出は他誌への二重投稿などが隠れている可能性があるため慎重に対応する必要がある .
- ・due date を大幅に超える reviewer が散見されるが , 全体としての査読プロセスは順調であるため , 現状にて対応(リマインド期間の調整などで今のところ全体の査読プロセスは維持されている)

4. その他

- ・次回会議予定:

2020 年 4 月 16-18 日 , 日本整形外科学会基礎学術集会 名古屋